気仙沼市

pressrelease

記者会見資料
令和元年８月６日（火）
産業部観光課（観光係）
担当：畠山，村上（内線５３１）

－ とどけ！！海へ　大地へ　大空へ －

「第68回気仙沼みなとまつり」を開催しました

■　８月３日（土），４日（日）に開催の「第６８回気仙沼みなとまつり」に２日間を通して７６，０００人の方に御来場いただきました。

■　３日（土）は朝から強い日差しが照りつけましたが，幾分暑さが落ち着いた１８時に「はまらいんや踊り」が始まり，３５，０００人が来場され，震災後いちばんの人出となりました。

■　４日（日）の昼の部（12 時～17 時）は，パレード及び新たな内湾海上行事として宮城外洋帆走協会の御協力による「ヨット展示・見学，帆走披露」が行われ，６，０００人が来場されました。
　夕の部（17 時～20 時 30 分）は，「打ちばやし大競演」，「サンマ漁船集魚灯披露」，「海上うんづら」，「海上打ち上げ花火」等，気仙沼でしか味わえない息の合った見事なコラボレーションが繰り広げられ，さらには特別ゲストの熊谷育美さんの新曲「海潮音」の歌唱や，第８１豊清丸による「サンマ漁実演」もあり，３５，０００人の方々にまつりを御堪能いただきました。

【開催概要】

■８月３日（土）　※会場：田中前大通り
（１）内　　容　オープニングセレモニー，はまらいんや踊り
（２）入 込 数　３５，０００人（前年 34,000 人）
（３）参加団体　６２団体・２，７５９人（前年 68 団体・3,006 人）

■８月４日（日）　※会場：内湾・港町臨港道路周辺
～昼の部～
（１）内　　容　みなとまつりパレード，内湾海上行事（ヨット展示・見学，帆走披露）
（２）入 込 数　６，０００人（前年 1,000 人 ※雨天中断）
（３）参加団体　１４団体・８００人（前年 15 団体・816 人の申し込み　※同上）

～夕の部～
（１）内　　容　打ちばやし大競演，サンマ漁船集魚灯披露及び漁実演，海上うんづら，海上打上花火
（２）入 込 数　３５，０００人（前年 10,000 人※打ちばやし大競演は雨で中止）

≪補足≫
・前年に続き，御来賓として駐日インドネシア共和国大使館アリフィン・タスリフ特命全権大使をはじめ大使館関係者３名の御臨席を賜りました。
・3 日（土）のオープニングセレモニーにおいて，特命全権大使より「気仙沼市のホストタウンへの申請は非常に喜ばしい。インドネシアとしては，オリンピックにバトミントンの選手，陸上の選手を派遣する。皆様には応援をお願いしたい。将来にわたりインドネシアと気仙沼の関係がより良くなるように祈念している」という御言葉をいただきました。
・4 日（日）には，昨年は大雨のため中断・中止を余儀なくされた「パレード」や「打ちばやし大競演」が 2 年ぶりに開催することが出来ました。また，（一社）宮城県外洋帆走協会によるヨット帆走披露等が，昼の部の内湾海上行事としては，震災後初の行事開催となりました。
・例年実施いただいている第 81 豊清丸による集魚灯によるライトアップに加え，今年はサンマ漁の実演を披露いただき多くの観衆を魅了しました。
・みなとまつり開催中の 19 時 23 分頃、福島県沖を震源地とするマグニチュード 6.2 の地震が発生し，まつりを一時中断しました。気仙沼市は震度３で津波の心配もなく，警察・消防の管外応援が不要であること，よってまつりの警備体制を維持することが確認出来たことから，19 時 37 分にまつりを再開しました。